

島本町立歴史文化資料館 館報第 14 号



令和 5 年 3 月

島本町立歴史文化資料館

## はじめに

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、4月25日から6月20日までの約2か月間の臨時休館をするという事態で始まりました。休館に伴い、企画展の途中打ち切りや延期、展示内容の変更等を余儀なくされ、できることはただ、ウイルス感染が収まるのを待つことだけでした。

再開後、次の感染の波が来ないことを祈りつつ、「近世やきもの 桜井焼－楠公焼とよばれた名陶－」を開催しました。

桜井焼は長年地元に愛され、根強いファンを持つ焼き物です。資料館で約100点もの資料を一堂に会して紹介することは、開館後初めてのことでの多くの来館者を迎えることができました。

また、秋には企画展「みちしるべ～石に刻まれた歴史2～」を開催し、感染対策を講じながら、講演会を行うなど、無事に企画展を実施することができました。

その他にも、「町内発掘調査成果速報展」や「むかしの道具」展を開催しました。展示期間中には、住民の皆様をはじめ、多くの方々の関心をいただき、コロナ禍にも関わらず、約8,000名の方々に入館していただきました。

今後もこれまでと同様に、地域の活動を応援する施設であり続けることができるよう努めてまいりたいと思います。

本稿では、令和3年度の当館の事業を報告することで、皆様方へのお礼と代えさせていただきたいと思います。今後の益々のご支援・ご協力を、心からお願ひ申し上げます。

令和5年3月

島本町立歴史文化資料館  
館長 久保 直子

## 目 次

はじめに	1
講演会	
「町内のみちしるべを巡る」	講師 久保 直子 3
展示	
常設展 「ひと・もの・みち」	5
企画展 「令和2年度 寄贈資料大集合！」	5
企画展 「近世やきもの 桜井焼－楠公焼とよばれた名陶－」	6
企画展 「みちしるべ～石に刻まれた歴史2～」	7
企画展 「水無瀬駒 関連資料 実物展示	7
企画展 「町内発掘調査成果速報展」	8
企画展 「むかしの道具」展	8
事業報告	
企画展・催物一覧	9
団体施設使用による催物一覧	9
入館団体	10
利用状況	10
寄贈・寄託	10
受け入れ図書 令和3年度	11
〔調査・研究〕	
閔大明神社の石造狛犬について	14
町指定文化財一覧	18

## 講演会 「町内のみちしるべを巡る」

令和3年10月30日（土）

島本町教育委員会事務局 教育こども部 生涯学習課 久保 直子



「みちしるべ」は旅人が目的地にたどり着く助けとして、大きな役割を果たしていました。現在残っているものには交通社会が発展する以前に作られたものが多く、江戸時代に設置されたものを見ることができます。本市には現在 26 本の「みちしるべ」が残っています。道路の整備や改修などで当初の場所から移動させられ、標示された文字の方角が目的地を指していないものもありますが、文字を辿ることで、もともと建っていた場所を探し当てることができます。また、「みちしるべ」は目的地の方角を示すだけでなく、建てられた時期、建てた人、村などの名前も刻まれていて、いろんな情報や人々の想いが込められています。また、寄付によって建てられたものが多く、刻まれた文字から供養や信仰のために建てられたものであることなどもわかります。

道標の形も千差万別ですが、町内にある「みちしるべ」は、尖頭角柱形が多く見られます。その他、常夜灯、灯籠形、地蔵光背形、地蔵石台や墓碑に書かれたものもあります。今回の展示では、現在の姿を記録保存するために拓本を取っています。道標や石造物は風雨にさらされて、文字が見えなくなったり、どこかに移動してしまうことがあるので、資料館では現状を記録保存するために拓本を取り、可能なものは模型にしています。

では、本題の道標を紹介させていただきます。

山崎にある「椎尾神社道標」には、「たからてら」、「たにてら」、「左 てん王道」とあります。今は椎尾神社拝殿の広場の右側に 2 基並んであります。廃仏毀釈により西観音寺が今は椎尾神社になっていますが、字名が谷であったので、西観音寺を谷寺と呼んでいました。

次は東大寺の「柳谷親世音菩薩道標」です。西国街道と柳谷親音（楊谷寺）道の分岐点に建っていて、そこには「水無瀬神宮道標」もあります。柳谷道標には、行燈講、観音講、大福講などたくさんのお講の種類と寄進した人の名前や住所が書かれています。当時の柳谷さんへの信仰の深さが窺えます。「水無瀬神宮道標」には、「官幣大社水無瀬神宮」とあり水無瀬神宮まで「左へ三丁」と距離が書いてあります。これは、昭和 14 年に洗心流の方々が水無瀬神宮のために寄進したものです。この他にも、淀川堤防と阪急大山崎の駅の電話ボックスの横、西国街道から水無瀬神宮へ行く道の角にも洗心流が寄進して建てた同様の道標があります。水無瀬神宮は、後鳥羽上皇の菩提を弔った御影堂から始まり、水無瀬宮となり明治 6 年に官幣中社に列せられ、昭和 14 年に官幣大社になります。その際に洗心流の方々によって建てられました。続いて「百山參詣道標」です。現在は若山神社内に移動していますが、もとは西国街道沿いにあり、百山にあった百山稻荷神社に参詣される人のために建てられました。距離は表記されず、矢印と百山參詣道と書いてあるだけです。

次に、「西国街道道標」です。桜井の踏切の角にあります。「右 柳谷」、「左 西の宮 そうじ寺」。裏側には、右に行くと京、伏見と山崎に行けますよと示しています。こういう道標を頼りに旅人が西国街道を歩いたのではないかと思います。

ここから少し離れて、高浜にある「八幡・京道道標」には、「右八幡、左京」とあり、高浜の渡しがあったところに行く道にあります。島本町には、他に山崎と広瀬に橋本へ行く渡しがありましたが、高浜の渡しからは樟葉に着いて、伏見のほうへ行かれる人もいたようです。いろんなルートで石清水八幡宮や、橋本方面へ行かれたというのが分かります。

次に釈恩寺を紹介させていただきます。現在、お寺は跡形もなく、ただ石造物だけが残っています。もともと十一面觀音を安置されていましたが、現在は高槻の靈松寺さんが管理されています。釈恩寺に上がると、本堂の礎石は残っていて、礎石から大きさを推測することができますし、また、頼山陽の詩碑や、乃木希典夫妻の線刻画像碑が残っています。釈恩寺参道登り口にある「釈恩寺碑」は、表に「本尊十一面觀音菩薩」とあり、柳谷觀音と同じ木から作られたと伝えられ、南一丁に尺代村があると書いてあるので、もとは、尺代橋あたりにあったと思われます。境内には地蔵堂があり、何体かお地蔵さんが残っていて、その中の1軀の台座に「右やまみち、左やなぎ谷」と刻銘があります。これもやはり、尺代橋あたりにあったのだと思います。境内の祠の中に「役行者石像」があります。役行者は、山岳修行で実在の人物とされていますが、この役行者像も道標の役目を成していたようで、柳谷まで十八丁とあります。先ほどの地蔵も役行者の像も、尺代橋の周辺に祀られていたと思われます。この他に、「柳谷・釈恩寺道標」ですが、これも元は尺代橋あたりに建っていたと思われますが、現在はふれあいセンターの敷地内にあります。道路の拡張等でふれあいセンターにたくさんの道標が移動させられています。「東大寺道標」も東大寺と柳谷の方に向かう分岐点辺りにあったと思いますが、現在はふれあいセンターにあります。「右 山崎、向日町」「左 芥川、池田」や「右 尺代 大澤」「左 橋本」まで示していて、大正時代に書かれたものです。「淨土谷越道標」は、柳谷道から西福寺へ入る辻にあり、尺代へと淨土谷越と書かれています。これも裏側には供養のために建てられたのか、ご先祖様のお名前が刻まれています。また、高浜のお寺内に「鬼勝定吉墓」という墓標の道標があり、左側に「右やはた道、左京山さき」とあります。今は墓地の中になりますが、道標の役割を持っているので、街道沿いに建てられていたと思います。

次は、丁石ですが、尺代から柳谷に向かって、地蔵に「〇丁」と刻んだものや、角柱道標に一丁と刻まれたものがたくさんあります。尺代橋の十八丁から始まり、一丁ごとに標石があります。十七丁はいくら探しても無いのですが、十六、十五、十四、十三、十二、十一と残っています。十二丁は、地蔵形と角柱形とが両方残っています。そして、今回、新しく八丁、七丁、六丁を見つけることができました。八丁は、角柱が落ちかけて斜めになっているという状況ですが、地蔵と角柱が残っています。七丁も六丁も角柱と地蔵が残っています。年代など、今後、町のほうでも調べていきたいと思っています。島本町では丁石が 11 本程残っており、元の位置を保っているものも多いので、柳谷觀音との関係を考える中で町の大変な文化財になると思っています。

「柳谷道大灯籠」は、第二中学校の向かい側の道を採石場に向かうとあります。これは講元や寄進者の名前が書かれています。道標に似たものでいうと「府県界標示石」もあり、大山崎町と島本町の境目の国道 171 号線沿いにあります。最後に、有名な道標として「従是東山城国」があります。大山崎町と島本町の境の大山崎町側に建っていて、西側には閻明神社があります。

この話を機会に尺代から柳谷觀音への道標めぐりや丁石めぐりというようなことで、歩いていただけるとありがたいなと思います。ありがとうございました。

## 展示

### 常設展 「ひと・もの・みち」

島本町は、大阪府と京都府の境に位置し、桂川、宇治川、木津川の三川が合流する地にあります。

町の中心を西国街道が通り、古来水陸の交通の要衝として栄えてきました。

その街道沿い国史跡桜井駅跡の南側、JR島本駅のすぐ東側に当資料館があります。

寄贈していただいた絵はがきを展示させていただきました。

国史跡桜井駅跡で売られていた絵はがきで、昭和12年3月の消印があります。



開館時間 午前9時30分～午後5時

休館日 毎週月曜日（祝日の時は開館し、翌日に休館）

12月29日～1月3日

その他臨時に開館・休館する場合があります。

入館料 無料



### 企画展 「令和2年度 寄贈資料大集合！」

展示期間：令和3年3月17日（水）～ 5月16日（日）

島本町はもとより、高槻市、大山崎町の近隣よりも寄贈いただきいており、資料は多岐にわたります。

令和2年度は、合計3,127点のご寄贈をいただきました。

これらの展示品は、ご寄贈いただいた方々の家に代々受け継がれた貴重な資料であり、これらの調査・保存・活用を行い、当資料館の今後の展示に役立ててまいります。

令和2年度は、旧家から寛政12年の年号が記された棟札の寄贈いただき、それらを中心にして展示了しました。



## 企画展 「近世やきもの 桜井焼—楠公焼とよばれた名陶—」

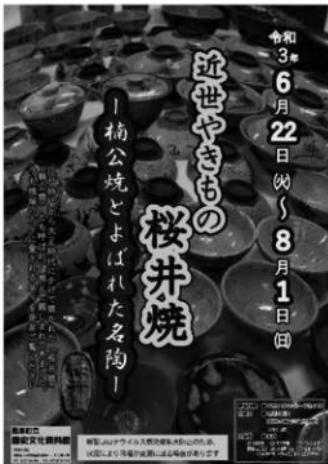
展示期間：令和3年6月22日（火）～ 8月1日（日）

高槻市の「古曾部焼」と並ぶ名窯で、かつては「待宵山焼」とも呼ばれ、研究史や解説書では「桜井里焼」と称されています。

桜井焼窯に関する資料は少なく、江戸時代を通じて、桜井村の庄屋をつとめた清水寛造（初代太左衛門）が京都の陶工のもとで陶法を学び、天明2年（1782）に自家の傍らに登窯を築き、開窯しました。

清水家は代々太左衛門を襲名しており、江戸時代末期（1804～43）、二代目の代に盛期を迎えます。

明治時代、三代目の時には「楠公焼」と称し、楠公父子決別に因んだ歌や図柄が描かれていましたが、大正6年（1917）、四代目の代に廃窯となり、創始より135年で幕を閉じました。



桜井焼は陶器製の染付で、茶器のほか日用雑器の皿・鉢・茶碗などが作られ、中には白い釉薬がかかった作品も伝わり、地域の人々に今も愛され、親しまれています。

コロナウイルス感染拡大防止のため、開催時期を遅らせての企画展となりました。窯元であった清水家や、地元の桜井焼所蔵者から貴重な資料提供をしていただき、大勢の来館者を迎えることができ、改めて、桜井焼の人気を知ることとなりました。



## 企画展 「みちしるべ～石に刻まれた歴史2～」

展示期間：令和3年10月13日（水）～12月12日（日）

「みちしるべ」は、旅人の便宜のため、街道の辻や分岐点に方向・距離などを記すために設置された標識で、旅人が迷わず目的地に辿りつくために大きな役割を果たしています。

残念ながら、道路整備や改修等で、無くなってしまったものや、当初の場所から移動されてしまったものもありますが、現在も、江戸時代頃に設置されたものを見ることができます。

展示では、拓本や立体に復元した模型を置き「みちしるべ」巡りを体感していただきました。



## 企画展「水無瀬駒 関連資料」実物展示

展示期間：令和3年11月20日（土）・21日（日）

通常は複製品の展示ですが、一年に一度、水無瀬神宮所蔵の

- ・小将棋 八十二才(漆書)
- ・中将棋 八十六才(墨書)

今回は、展示ケースの関係上、常設展示では一部分の展示となっている「象戯図」(複製)全紙を加えて紹介しました。



町公式キャラクターの、みづまろくんも見学にやってきました

## 企画展 「町内発掘調査成果速報展」

展示期間：令和3年12月16日（木）～令和4年2月6日（日）

令和2年度は、広瀬遺跡4件、水無瀬離宮跡2件、尾山遺跡2件、桜井遺跡1件、水無瀬莊跡1件、五反田遺跡1件、遺跡の範囲外1件の合計12件の発掘調査（試掘調査・確認調査を含む）を実施しました。

特に、令和元年度から令和2年度までに実施した広瀬遺跡の発掘調査では、溝跡から大量の中世の土師器・瓦器などが出土しました。また、尾山遺跡の発掘調査では鎌倉時代の池泉跡や飛鳥時代末から奈良時代前半までの瓦窯跡、桜井遺跡の発掘調査では桜井焼（楠公焼）を焼成したものと考えられるレンガ積みの窯跡、令和2年度に実施した広瀬遺跡の発掘調査では弥生土器などが見つかりました。

令和3年度の「町内発掘調査成果速報展」では、発掘調査時の写真や出土遺物等をおして、これらの発掘調査の成果を紹介しました。



## 企画展 「むかしの道具」展

展示期間：令和4年2月9日（水）～3月21日（月・祝）

今年度は、「煮炊きする」というテーマで、町内の方々から寄贈いただいたむかしの台所道具を展示しました。

今では見かけなくなった竈<sup>かまど</sup>を模型として製作し、その上に「羽釜」や「鍋」を展示しました。さらに町内での遺跡発掘調査で出土した13世紀後半以降の「羽釜」や「甕」も併せて展示しました。

また、昭和30年代以降に発売された「電気炊飯器」や「魔法瓶」など、さまざまな台所道具を紹介しました。

毎年、同時にむかしの農具と雛人形も展示しています。

来館された方も、むかしを懐かしみながら見学をされていました。



## 事業報告

### 企画展・催物一覧

開催日	企画展名
令和3年 3月 17日（水）～ 5月 16日（日）	「令和2年度 寄贈資料大集合！」
令和3年 6月 22日（火）～ 8月 1日（日）	「近世やきもの 桜井焼一楠公焼とよばれた名陶一」
令和3年 10月 13日（水）～12月 12日（日）	「みちしるべ～石に刻まれた歴史2～」
令和3年 11月 20日（土）～11月 21日（日）	「水無瀬駒 関連資料」実物展示
令和3年 12月 16日（木）～令和4年 2月 6日（日）	「町内発掘調査成果速報展」
令和4年 2月 9日（水）～ 3月 21日（月・祝）	「むかしの道具」展

開催日	催物
令和3年 6月 27日（日）	第88回コンサート （楽器の原点リコーダーと宮廷の華チエンバロによる） ヨーロッパのバロック音楽名曲コンサート ～17世紀以降のドイツバロック音楽などを楽しむ集い～
令和3年 10月 30日（土）	講演会 「町内のみちしるべを巡る」 （講師：久保 直子）
令和3年 11月 14日（日）	第89回コンサート 福井英里子 ヴァイオリンリサイタル Vol. 6 ～コロナに負けないで！スペシャル～

### 団体施設使用による催物一覧

開催日	内容
令和3年 9月 9日（木）	「古典文学、万葉集の学習」ふみの会
令和3年 10月 14日（木）	「古典文学、万葉集の学習」ふみの会
令和3年 11月 21日（日）	「島本の木を使った木工製作」 島本の森と水と健康を考える会
令和3年 11月 23日（火・祝）	「島本の木を使った木工製作」 島本の森と水と健康を考える会
令和4年 3月 20日（日）	「稚児行列」みなせ野 KEMARI クラブ
令和3年 4月～令和4年 3月 毎週火・土曜日	「朝市」 島本町農業振興団体協議会

## 入館団体

平成3年度(2021)

日付	団体名	団体数	日付	団体名	団体数
4月24日	NHK文化センター 京都教室	1団体	1月12日	摂津さんぽ	
8月4日	島本町にぎわい創造課	1団体	1月21日	毎日新聞旅行社	
10月19日	交野市「ふるさと講座」		1月23日	古代史サークル	3団体
10月24日	年金者組合 京都下京支部		2月3日	守口市歩こう会	
10月27日	大阪府高齢者大学 中世学科	3団体	2月4日	朝日カルチャーセンター中之島	
11月5日	大阪府高齢者大学		2月12日	NHK文化センター西宮ガーデンズ教室	
11月16日	京都市西京区 歩こう会		2月12日	NHK文化センター梅田教室	
11月20日	阪急沿線観光あるきガイドツアー	3団体	2月20日	京都府ウォーキング協会	
12月4日	NPO法人 自然と緑		2月24日	島本町立第三小学校三年生	6団体
12月9日	よみうり文化センター		3月19日	毎日新聞旅行 まいたび	1団体
12月21日	友歩会	3団体			

年間 21団体

## 利用状況

令和3年度入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般入館者数	479	0	170	819	850	734	971	1,066	688	652	704	743	7,816
講演会等 受講者数	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	26
コンサート入館者数	0	0	54	0	0	0	0	68	0	0	0	0	122
総入館者数	479	0	224	819	850	734	997	1,074	688	652	704	743	7,964

## 寄贈・寄託

令和3年度は110点の寄贈をいただきました。

内容	点数	内容	点数
衣服・装身具	1	社会生活	1
食生活用具	20	信仰	2
住居用具	22	民俗芸能・遊戯・娯楽	4
交易	2	文書	58

合計 110点

受入れ図書 令和3年度

発行	刊行物名
相生市 教育委員会	相生市文化財調査報告書 第20集和牛山市源流 円山1号古墳 史跡 調査報告書
相生市立 歴史文化財科	【展示解説】令和3年度(2021年度)特別展辰巳山城跡出土品 展示記念25周年 献ぐ辰巳とその時代
明石市市民生活 文化・スポーツ部 文化振興課	明石の歴史 第4号 明石の歴史 第1号 明石の酒
朝倉市 教育委員会	道山遺跡 V回朝倉市中平原古跡群の調査朝倉市文化財調査 報告書 第36集
朝倉市 教育委員会	朝倉市馬鹿路 V回朝倉市平原町在道山の調査朝倉市文化 財調査報告書 第37集
朝倉市 教育委員会	朝倉市文化財年報(平成30年度)朝倉市文化財調査報告書 道山
朝倉市 教育委員会	朝倉市文化財ガイドブック
安西工業 株式会社	平安宮石川九重二堵九郎町御所殿調査報告書
後藤町 教育委員会	後藤古墳調査報告書
後藤町 教育委員会	後藤町文化財調査報告書 第19集 佐風生御子町郷地町 大方 古墳調査報告書
後藤町 教育委員会	後藤町文化財調査報告書 第20集後藤町内路塚調査調査報告 記念21周年・令和元年度(2019)
高岡町 教育委員会 高岡町文化財 活用センター	高岡文化財センター年報 第10号(平成31年度・令和元年度)
高岡町教育委員会 高岡町文化財 活用センター	令和2年年度特別巡回団子の足跡—高岡市と高岡町—
高岡市 教育委員会	2019年度 丹波市埋蔵文化財年報調査報告書
高岡市 歴史民俗資料科	令和3年度 特別巡回展には何かがされている—一越國に おもてんせ城
富士津市 教育委員会	富士津市文化財調査報告書第15集 市堀川地区埋蔵文化財年報調査 報告書
佐野市 教育委員会	佐野市文化財調査報告書 第90号
和泉市いのちの園 空想館	和泉市いのちの園の四季と植物 著者不明
和泉市 教育委員会	和泉市立自然公園 1~2歳児用山古志
和泉市 教育委員会	和泉市立自然公園 2~3歳児用山古志の近現代
和泉市 教育委員会	和泉市立自然公園年報 第30
和泉市 教育委員会	和泉市埋蔵文化財調査報告書第31
和泉市 教育委員会	北陸地主上曾禪應保存活用計画
伊丹市 教育委員会	伊丹市埋蔵文化財調査報告書第46集 須崎東原伊丹市 有田埴跡 調査報告書
伊丹市立博物館	城城研究会たまき 城跡 記念特集
掛川町 教育委員会	掛川町文化財調査報告書 第1号と第2年度 特別巡回展開催実績 報告書 第3回 丹羽川地区埋蔵文化財調査報告書 第2回 沢井川 地区埋蔵文化財調査報告書 第1回 沢井川地区埋蔵文化財調査報告 書 第2回
茨木市 教育委員会	茨木市文化財資料集 第20集丹波大曾根 大曾根櫛、太田 櫛
茨木市 教育委員会	茨木市文化財資料集 第30集丹波大曾根 太田櫛、太田 櫛
茨木市 教育委員会	茨木市文化財資料集 第40集令和元年度 茨木市埋蔵文化財 調査報告書 第一回と2年連続開催実績
茨木市 教育委員会	茨木市埋蔵文化財調査報告書 第1号と3年(2021年)3月 6日
茨木市立 文化財資料科	茨木市立文化財資料館 開館 第6号(令和元年度)
茨木市立 文化財科	イビズアート都市で開催調査報告書 第4回平安京から二千年—坊 主町路・堀川御舟道跡—諸国物語町における埋蔵文化財調査調査 報告書—
西之町	西之町令和3年秋開催調査報告書 今町文化財調査調査報告 書第16集
大隅町 教育委員会	大隅松山市文化財報告書第5回大隅松山市内郷原町 埋蔵調査報 告書
大隅町 教育委員会	大隅松山市文化財報告書第5回大隅松山市内郷原町 埋蔵調査報 告書
大隅町 教育委員会	大隅松山市文化財報告書第5回大隅松山市内郷原町 埋蔵調査 報告書
大隅町 教育委員会	大隅文化大字学習博物館展示会 第10回「70周年特別の記録」と アート。
大隅町 教育委員会	大隅町文化財調査報告書 第63回 山崎城跡第3合 跡調査報告書
大隅町 教育委員会	大隅町埋蔵文化財調査報告書 第64集 同上
大山崎町 教育委員会	大山崎町埋蔵文化財調査報告書 第65集 同上
大山崎町 歴史資料館	移転開館式・山崎城会場
大山崎町 歴史資料館	大山崎町歴史資料館 開館 第24号
大山崎町 歴史資料館	大山崎町歴史資料館 開館 第25号
大山崎町 歴史資料館	第29回企画展・大山崎神人と舞春秀吉『井戸家文書』 の世界—
岡山市 教育委員会	岡山市埋蔵文化財センター年報 —2019(平成31)令和元年度—
岡山市 教育委員会	岡山市埋蔵文化財センター研究会第13号 上伊庭(瀧生) 遺跡調査古墳合葬の発見と回向岡II期埋蔵工事 に伴う発掘調査
高砂市 古墳	高砂市古墳 高砂市古墳 高砂市古墳 高砂市古墳 2014~2020年度調査
乙訓の文化遺産 総合学術博物館	乙訓文化遺産 第25号 丹波國乙訓郡 上市町・高砂市・高砂 町・高砂町・市原町・西山町・南区・北区・北区の文化
貝塚市 教育委員会	貝塚市埋蔵文化財調査報告書 第88・89集 丹波市進捗部埋蔵文化 財報告書 第4・5

発行	刊行物名	発行	刊行物名	
一般財団法人化学及血液法研究会 株式会社さりぞな銀行 株式会社イビ ソル	渋谷区内近畿市江戸川区関連津波調査報告書09(TM01)在金台 町丁目町内海道津波調査報告書	熊取町埋蔵文化財調査報告 第63集熊取町道前海岸調査組 合会書「X-XIV」		
角田市 郷土資料館	角田市文化財調査報告書第54號角田川町に確いだ伊達政宗の女房半室等への手紙 二 伊達政宗の女性編	熊崎書店古吉の日記		
加西市 教育委員会	加西市埋蔵文化財調査報告77号鹿児亭Ⅱ 第1次調査~第 2次調査	福島県埋蔵文化財調査報告書 第9次調査報告書		
父野市 教育委員会	父野市埋蔵文化財調査報告2020-1令和2年度 父野市埋蔵 文化財発掘調査概要	兵庫県埋蔵文化財調査報告書 第84次調査報告書		
父野市 教育委員会	父野市文化財調査報告より 第33号	松浦町 單層調査報告書		
かいつら町 教育委員会	和泉山奈良原町かつら町文化財調査報告書第18集平成31年 度 かつら町埋蔵文化財調査報告書	令和2年冬季企画埋蔵神戸・うつからむる町とくらし~昭和 ノスルジマ~		
河内長野市 教育委員会	河内長野市文化財調査報告書第66号河内長野市埋蔵 文化財調査報告書第41觀心寺道跡、高向遺跡、上塚東遺跡、坂 谷跡	令和2年春季企画北画展・史跡指定百年史跡・玉色考古墳の 歩み		
川西市 教育委員会	令和元年度 川西市埋蔵調査報告	平安京左京八条一坊八条北院御所埋蔵文化財調査報告書		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	傳教院右京堂三、四、五、一平成20年度早朝開帳報告書— 平安京右京堂二条坊二(延長80尺)一令和元年春季埋蔵調 査報告書	平安京左京七条二丁目八条北院御所西御院門における埋蔵文 化財調査		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	平安京左京三條六坊一~三 一坊 町内海道跡(H0.0尺)一令和元 年春季埋蔵調査報告書	月刊ほんばく 2022年1月号		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	公民財團法人 光風寺文化財研究所 要覧	月刊ほんばく 2022年2月号		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	公民財團法人 光風寺文化財研究所 第47回国定宝古河原所山古墳調査 報告書 一平成29~31年度内宮經略古墳群調査報告書	月刊ほんばく 2022年3月号		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	令和元年度、羽柴山文化財事務所埋蔵の歴史 2	令和2年春季企画埋蔵文化財調査報告書		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府内宮經略古墳群 令和元年度	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第14回福岡埋蔵都市埋藏 (SKT126) 単層調査報告書		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府内宮經略古墳群 令和元年度	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第15回福岡埋蔵都市埋藏 (SKT126) 单層調査報告書		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府内宮經略古墳群 令和元年度	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第16回福岡埋蔵都市埋藏 (SKT126) 单層調査報告書		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	史跡 西ノ門跡、聖廟跡及び城跡調査報告書	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第17回福岡埋蔵都市埋藏 (SKT126) 单層調査報告書		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府埋蔵文化財研究会発掘調査報告書2015-6平宝京内宮 跡・聖廟跡	福岡市埋蔵文化財調査報告 第177回辻之瀬跡(TN-5)单層 調査報告書		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府埋蔵文化財研究会発掘調査報告書2016-18町内海城(妙廣 寺跡)、本能寺跡	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第178号毛穴遭跡(KEN-5)单 層調査報告書		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府埋蔵文化財研究会発掘調査報告書2017-16西鶴寺跡・成 跡跡跡・白河阿蘇跡・廻路跡	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第179号大井遭跡(TAI-12)单 層調査報告書		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府埋蔵文化財研究会発掘調査報告書2018-9平安京右京六 条一坊三町跡、湖上寺跡	福岡市埋蔵文化財調査報告書 第180号毛穴遭跡(KEN-6)单 層調査報告書		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府埋蔵文化財研究会発掘調査報告書2019-9平安京右京六 条一坊十四町跡・西ノ門跡	福岡市埋蔵文化財調査会議 第14集第10回、百舌鳥古墳群埋蔵会記 録案(埴原町篠原後の百舌鳥野・新古石室開発家を中心 として)		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府埋蔵文化財研究会発掘調査報告書2020-10平安京右京二 条一坊六・二条二・五条跡	西條市埋蔵文化財調査報告 第6回西條市文化財調査平報第 二号・中野遺跡(3巻) / 宮古寺		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府埋蔵文化財研究会発掘調査報告書2020-11町内海跡・上 立跡	西條市埋蔵文化財調査報告 第61回西條市文化財調査平報 第9号・中野遺跡 4		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府埋蔵文化財研究会発掘調査報告書2020-12白河内海跡・ 山上大鍋跡・遭跡	伏見区埋蔵文化財調査会議 第27-1の東施遺跡		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府埋蔵文化財研究会発掘調査報告書2021-2史跡賀茂御 神境	平安京右京八条坊七跡・西京御造跡京都府右京区西院月 町111,114の一部の単層調査		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府埋蔵文化財研究会発掘調査報告書2021-3平宝京中和 跡・聖廟跡	平安京左京八条坊八跡・御所跡京都府下京区佐久間町東入る 元竹町643,645,646,646-1の単層調査		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府埋蔵文化財研究会発掘調査報告書2021-4白野谷今町 遭跡	平安京左京八条坊九跡・御所跡京都府下京区佐久間町東入る 元竹町288-1~3,339-1~2の単層調査		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府埋蔵文化財研究会発掘調査報告書2021-5山科本郷寺跡	植物園北邊跡京都府上賀茂町上賀茂町10番町7-7-1~3~ 5,30-3,31-7,8 上賀茂町10番町16の単層調査		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府埋蔵文化財研究会発掘調査報告書2021-6山科本郷寺跡	港区近畿市江戸川区関連津波発掘調査報告書06(TM06-1)津波 発掘調査報告書		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府立大学 大学院	新橋町田地区市民 内閣閣僚官邸 株式会社 バコロドウ ヨシナルティン 事業部	港区内近畿市江戸川区関連津波発掘調査報告書05(TM05-199)港区 No.199番跡	
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	「動かす世界から太平の震へ」競技会を乗り越えた人々のくらし ~展示開催~	福岡市埋蔵文化財調査報告書 I -福岡城跡第6次発掘調査- 一福岡城跡		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府埋蔵文化財調査会議 第10号	令和2年(2020)年度埋蔵文化財緊急整備調査報告書吹田跡推定 地・垂水遭跡・吹田張忠堀跡No.48・吹田須須原		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府立大学文学部歴史学科「フィールド調査集録 第6号」	福岡市立博物館 稲葉19		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府立大学文学部歴史学科「フィールド調査集録 第7号」	令和2年(2021年度)令和2年特別展示芦原隆古墳群一被葬者の隣に せりある一		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府立大学人文学部歴史学科「歴史的遺跡 第17集トル・ア・ナトリアの 「歴史的遺跡性」」文部省選定	スズカト展示解説、竹内西道元の教師		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府立大学文化遺産調査書 第19集京都山・三輪神社天祖 調査報告書	平安京右京・企画別解説書春緑号で見る竹内西道		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府立大学文化遺産調査書 第20集京都山・御多賀穴之 古文書調査報告書	平安京右京・御多賀穴之古文書調査報告書		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府立大学文化遺産調査書 第20集地区地域にける文化遺 跡・御上神社御山尾山光明寺文化財調査報告	平安京右京・御山尾山・御上神社御山尾山御上御院御上御院 第23号 令和2年(2020)年度		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府立大学文化遺産調査書 第21集京都山・文書調査 報告	令和2年(2021年度)令和2年特別展示芦原隆古墳群一被葬者 の隣にせりある一		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府立大学文化遺産調査書 第22集あらのころの雪~京都 の古文書調査報告書	太秦御糞場馬糞料10号植村たけし著		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府立大学文化遺産調査書 第23集あらのころの雪~京都 の古文書調査報告書	京都府埋蔵文化財調査報告 第45集高丘住居建跡に伴う財 産整理調査報告書立木大森町地図二丁目所在		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府立大学文化遺産調査書 第24集	大東市立歴史文化資料館・福岡 第4号		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	京都府立大学文化遺産調査書 第25集	大東市立歴史文化資料館・福岡 第5号		
公民財團法人 光風寺文化財 研究所	大和地所レジデン ス株式会社	港区近畿市江戸川区関連津波発掘調査報告書07(TM07-15)津波 発掘調査報告書		

発行	刊行物名
高石市 教育委員会	高石市文化財調査報告書2020-1 大園遺跡他の発掘調査報告
高橋市 街にぎわい部 文化財課	安浦遺跡調査報告書—高木水道新設、高橋子ども未来図書館併用する施設調査—高橋市文化財調査報告 第37号
高橋市 街にぎわい部 文化財課 文化財センター	高橋市文化財調査報告書49期上巣鷹群45 参天山84号機械整理作業報告書—駒ヶ嶺、駒ヶ嶺一
高橋市 街にぎわい部 文化財課 高橋市立今宿城 古代歴史館	「安浦遺跡公園」全面開園シンポジウム 資料集発生時代開拓期の古墳—弥生人と弥生人の共生—
高橋市 街にぎわい部 文化財課 高橋市立ふるみと 歴史館	高橋市文化財調査報告書 第40群郷上坂真 美村寛純コレクション 一土製・紳士服玩具(東日本)一
高橋市立 今宿城古代 歴史館	高橋市立今宿城考古学公園「安浦遺跡公園」全面開拓記念特別展「安浦遺跡と古墳の共生時代」
高橋市立 しきかと歴史館	高橋市立今宿城考古学公園 和令4年春季企画別団体主催の「春山古墳群系遺跡」
社川村人 手草亭岡田公亮 保存会	西脇市公務員会員登録制度記念展 日本古楽の伝統文化 得銀
寺尾山大学 考古学研究所	寺尾山大学考古学研究所研究報告 XX III
寺尾山大学 考古学研究所 ・附属博物館	シンボジウム報告書18 雅故宮と藤原宮
寺尾山大学 附属博物館	寺尾山大学附属博物館研究会 第6回特別展「古事記の山川里—瀬戸内海の古事記—」
浜洋海事事業 株式会社豊國 文化財研究会	港区内淀川市江戸川安浦遺跡発掘調査報告82 [TM205] 旗本上方家屋敷絵縁鑑
公益財団法人 特 別助成金開発学校 頸陽保育会	開谷学校 あいうえお講話
豊中市 教育委員会	豊中市文化財調査報告書 第63集新光遺跡 第74次調査 豊中市文化財調査報告書 第55集中郷上坂埋蔵文化財発掘調査報告 第1回(2010年度)
長岡京市 教育委員会	長岡京市文化財発掘調査報告書 第76号 長岡京市文化財発掘調査報告書 第17番御史跡 乙院古墳群 ノ内御室古墳の発見—復縁編—
滋賀県立人 文科学館	長岡京市埋蔵文化財センター年報 和令元年度
独立行政法 国文化財機 构文化財研究所 埋蔵文化財 センター	埋蔵文化財ニュース 192 埋蔵文化財ニュース 183 埋蔵文化財ニュース 184 埋蔵文化財ニュース 185 埋蔵文化財ニュース 186 佐賀県出土墨書き署上跡・文字 彫刻
西宮市 教育委員会	西宮市文化財資料第2号西宮の雪舟用瓦調査報告書 西宮市 上郷瓦窑跡発掘調査報告用具 西宮市文化財調査報告書 第3集 西宮の埴輪 西宮市文化財調査報告書 第18年年度版 西宮市文化財調査報告書 第19年年度 西宮市文化財調査報告書 第36回特別展示街道と生きる一般駅生 活の歴史と文化財
山瀬海岸保 留地妙化山 出陳記	妙見さまのものがたり(塚の神さま)
羽曳野市 教育委員会	羽曳野市内遺跡調査報告書 平成30年度羽曳野市埋蔵文化財 調査報告書
高槻町二丁目 地区市街地 再開発組合	高槻市古墳群 佐久間古墳埋蔵文化財発掘報告書82 [TM210] 和様小形埴溝古墳久保町家跡第2・北前町町家跡第1遺 跡—高槻市二丁目地区第一種市街地再開発事業を係る住 宅団地埋蔵文化財調査報告書
阪南市 教育委員会	阪南市埋蔵文化財報告61阪南市埋蔵文化財調査報告39
東大阪市 教育委員会	東大阪埋蔵文化財発掘調査報告 一和令2年度
東大阪市 教育委員会	東大阪埋蔵文化財発掘調査報告 一平令2年度
東大阪市立 郷土博物館	東大阪市立郷土博物館 令和3年度特別展示鍋島藩—五代当 主のおみやげ— 展示解説書
発行	刊行物名
枚方市 關光にぎわい部 文化財課	枚方市文化財調査報告 曜92令和元年度 枚方市埋蔵文化 財調査年報2019
福知山市 教育委員会	福知山市文化財調査報告書 第72集他ノ谷1号墳 (伝重羅古跡)
藤井寺市 教育委員会	石川城遺跡特別発掘調査報告書 X X X VII 藤井寺市文化財調 査報告
株式会社 文化財サービス	文化財サービス発掘調査報告書第15集平安京右京六条二坊十 二町跡発掘調査報告書 文化財サービス発掘調査報告書第16集平安京右京六条三坊一 町跡・西院跡発掘調査報告書 文化財サービス発掘調査報告書第17集平安京右京六条二坊七 町跡・在田跡発掘調査報告書 文化財サービス発掘調査報告書第18集一ノ井跡発掘調査報告 文化財サービス発掘調査報告書第19集平安京右京六条二坊一 町跡・西院跡発掘調査報告書(Ⅰ) 文化財サービス発掘調査報告書第20集平安京右京六条四坊一 町跡・五九郎跡発掘調査報告書
松原市民 ふるさとびあ プラザ	令和3年度特別展 北山彌庵展
三本市 教育委員会	三本市文化研究資料 第36集三本の石品晶一別所地区編— 播磨陪臣文化財・非公有墓地(播磨郡北山遺跡等複数施設 「かみの杜」の杜)保存修理工事報告書
港区教育委員会	港区内近世都市江戸開港地跡発掘調査報告H2 [TM145] 承教 会ホール・新秋葉門跡町開港地跡発掘調査報告書
港区立 郷土資料館	港区立郷土資料館 研究会第1回 港区立郷土資料館特別引出戸石の「安政屋敷」—政治・生活・文化 の舞台 港区立郷土史料館編集 平成30(2018)年度・令和元(2019) 年度
港区立 郷土資料館	港区立郷土史料館 第1回展示会 港区立郷土史料館特別引出戸石 一人ともにもあるもの— 令和2年度・港区指定文化財
ミュージアム 活性化実行 委員会	大阪市ミュージアムガイド
向日市 文化資料館	特別展示図録 日本書・六人姫姫の世界
八尾市	出版 八尾市史 宋代・現代史料編
八尾市文化財 調査研究会	令和2年度《公財》八尾市埋蔵文化財調査研究企画報告 公財財团法人 八尾市文化財調査研究会報告166 久宝寺遺 跡 第70次調査
公財財团法人 八尾市文化財 調査研究会	公財財团法人 八尾市文化財調査研究会報告167 仁光寺 跡 第71次調査 《公財》教興寺跡(第3次調査) 田東古墳 群(第12・14次調査) 《公財》通説(10次調査)
公財財团法人 八尾市文化財 調査研究会	公財財团法人 八尾市文化財調査研究会報告168 仁賀遺 跡 第1次調査 《公財》久宝寺遺跡(第76次調査) 久宝寺遺 跡(第60次調査) 《公財》久宝寺遺跡(第89次調査) 《公財》通説(第 74次調査) 《公財》通説(第75次調査) 《公財》通説(第78次調 査) 《公財》通説(第80次調査)
公財財团法人 八尾市文化財 調査研究会	公財財团法人 八尾市文化財調査研究会報告169 仁恵遺 跡 第10次調査 《公財》智進御跡(第51次調査) 智進御跡(第53 次調査) 《公財》通説(第54次調査) 下工事に伴う埋蔵文化財手取調査
山口県立 山口博物館	山口県立山口博物館 創館43 山口県立山口博物館研究報告 第17号
八幡市 教育委員会	八幡市埋蔵文化財発掘調査報告 第67集周囲遺跡(第11次) 発掘調査報告書 八幡市埋蔵文化財発掘調査報告 第68集今里遺跡発掘調 査報告書
奈南町研究部 消防研究部 東京都歴史研究 会研究会	奈南町研究部 消防研究部 東京都歴史研究会 研究会 第23号
鶴ヶ谷大 学文化遺產學 研究會	文化遺產研究 第5号
鶴ヶ谷大 学文学部考古學 實驗室	文化遺產研究 第4号
鶴ヶ谷大 学文学部考古學 實驗室	考古学専論 文化財専論報告書 第3集 考古学実習 文化財実習報告書 第4集
和歌山縣教育 文化遺產課	あじぞわんこの歴史遺産からうらり猪 和歌山縣教育廳 文化遺產課
	第63回近畿・東南・北陸ブロック 民俗芸能大会 和歌山大 会 伝統芸能解説書

## 〔調査・研究〕

### 関大明神社の石造狛犬について

龍谷大学 非常勤講師 山下 立

島本町教育委員会事務局 教育こども部 生涯学習課 久保 直子

#### (1) 関大明神社について

関大明神社には、あまり知られてはいないが、本殿脇に石造狛犬が一对鎮座する。今回、本町大字広瀬にある若山神社の栗辻宮司の働きかけによって、調査を行う機会を得ることができた。結果、当調査によって、非常に興味深い報告をいただけたので、本稿に掲載した。

狛犬の詳細については、(2)に挙げる山下立氏<sup>※1</sup>の報告をお読み頂くこととし、まずは関大明神社について簡単に触れておく。本町の東端に位置し、京都府(山城国)との国境に置かれた奈良時代の関跡と伝えられている。平安時代になると関は廃止され、跡地に閑戸院(閑外院、公営宿泊施設)が設けられ、貴族や官人の利用にあてられた。

神社の創建は明らかではないが、本殿内部には「鎮疫神」と記された文化4年(1807)の扁額が收められている。『続日本紀』宝亀元年六月二十三日の条に「甲寅。際疫神於京師四隅。畿内十堺」、また『延喜式卷三』『臨時祭』畿内堺疫神の条に「畿内堺十處疫神祭。」<sup>※2</sup>とあることから、畿内の境に建てられた疫神を祀る神社の一つであったと考えられる。本殿は様式手法等から室町中期と思われ、大阪府指定文化財(昭和22年)となっている。(久保)

#### (2) 狛犬について

【作品名】石造狛犬 1対

【所在】大阪府三島郡島本町山崎 関大明神社

【時代】南北朝時代(14世紀)

【法量】(単位センチメートル、阿・吽の順に記す)

像高 33.0、33.0 頂一頸 12.0、12.0 面幅 9.8、9.8 耳張 10.2、10.2 面奥 14.0、13.5  
たてがみ最大張 17.2、15.8 胸張 17.4、17.4 胸奥 24.0、22.0 面先～尻(尾) 24.5(30.0)、  
20.0(25.5) 胸～尻(尾) 28.5(34.0)、26.5(32.0) 足先～尻(尾) 25.5(31.0)、26.5(32.0)  
前肢開 18.4、17.0 後肢開 17.0、16.5 後肢最大張 17.5、16.8 脊張① 16.6、16.6 脊  
張② 15.2、15.4 脊張③ 13.8、13.2 脊最大張 16.6、16.6 脊厚① 16.0、15.0 脊厚② 14.8、  
14.2 脊厚③ 14.0、13.5 脊最大厚 16.0、15.0

【概要】丹後半島を中心に約30件分布する中世の石造狛犬、すなわち、丹後半島型石造狛犬(丹後狛犬)の一例に当たる作品である。一石から本体の全容を丸彫りし、台座は伴わない。吽形頭頂に角がなく、獅子一対の作例である。阿吽共、拝者側に頭部を向け、両前肢を揃えて蹲踞する。

その姿は、頭部が小振りで四肢太く、体躯に量感があり、上体を持ち上げ胸を張って身構える姿勢と相俟って、守護獸らしい造形性を示している。阿吽ともに像高は変わらず33.0、体長(面先～尻)は、それぞれ24.5、20.0(面先～尾は30.0、25.5)を計る。像高1に対して、0.74、0.61(0.91、0.77)となり、上体を起す本像の姿勢がこの数値からも読み取れる。ことに吽形はその傾向が著しい。

たてがみはすべて巻毛で、阿吽ともに上段4本、下段8本、計12本の毛束からなる。後

頭部中央辺りで毛束の巻き方が変わり、頭部左側のたてがみ 6 本は右巻、右側の 6 本は左巻となる。顎鬚は直毛のまばら彫りで、阿形 11 本、吽形 10 本の手束を現わし、毛筋は刻まない。たてがみの一部は、この鬚を取り巻くように胸前に伸びている。大きく見開いた目は、瞼を括り、虹彩の周りを彫り込んで立体的に表現し、上瞼の上に太い眉を現わしている。鼻は過大で左右に押し広げられた横長の形状を示し、そこに鼻孔を大きく穿っている。耳は、阿形が側頭部に垂れる形、吽形が立耳で、両者で少しく変化をつける。歯は吽形が上歯六本を上から剥き出す形だが、いずれも先端が尖る牙に表現される。一方、阿形では上下とも牙ではなく、上歯は 8 本、下歯は概ね 9 本を彫り出し、下歯列の上に舌を現わす。

体部では、阿吽共、両前肢に各 2 本ずつ縦の筋を入れる点が注目される。前肢に縦の筋を入れるのは、丹後型特有の手法であり、他の作例にはあまり見られないものだからである。また、両者とも背に肋の筋を各 5 本ずつ刻み、股間に陽物を現わさない。尾は凝った作りで、先端で 5 本に分かれ、両端の 2 本のみ外側に巻く。また、尾と本体との間が削り抜かれている。すなわち、地付から長く伸びた一本の尾が、先端部分のみ背中に付くという動きのある造りを示しているのである。

本像で特記されるのは、制作時期の古さである。本像は、鎌倉後期から桃山時代にかけて造像された丹後狛犬の特徴をよく備え、とりわけ南北朝前期の制作と推定される京丹後市藤社神社に伝わる 2 対と共通する手法、形状を示している。また、丹後型唯一の紀年銘遺品として知られる文和 4 年(1355)銘同市高森神社像と比較すると、本像や藤社神社像に比べて、総じて彫りが浅く、簡素化とともに纏まりの良い姿に仕立てられているのが分かる。このように見れば、関大明神社像はそこまで下るものではなく、やはり藤社神社像とほぼ同時代の制作、概ね南北朝前期に遡る時期の作品と考えることができる。これまで、大阪府下の石造狛犬としては、守口市津嶋部神社に伝わる慶長 13 年(1608)銘の笏谷石製狛犬(市指定文化財)が最古の遺品として知られていたが、本像の出現によって、それよりも一挙に 270 年ほど遡ることとなった。新たな府下最古の石造狛犬の登場であり、本像は、大阪の狛犬史を書き換える特筆すべき作品と言うことができよう。 (山下)

### (3)まとめ

以上より、関大明神社の狛犬が、京都府丹後半島型石造狛犬の特徴を備えている事や、府内最古の狛犬であることが明らかとなった。丹後半島を中心に分布する石造狛犬が島本の地に何故存在したのか、また、丹後半島と関大明神社との関わり等、不明な点が多いが、本町にとって重要な文化財であることには間違いないことで、今後も引き続き調査を行っていきたい。

(久保)

\*1 調査においては、山下 立氏をはじめ、栗辻 卓氏(若山神社官司)や山崎地区の方々にご協力いただいた。この場をお借りして、お礼申し上げる。

\*2 『延喜式卷三』「臨時祭」畿内禰疫神の条

畿内壠十處疫神祭 山城與\_近江\_堺一。山城與丹波\_堺二。山城與\_攝津\_堺三。山城與\_河內\_堺四。山城與\_大和\_堺五。山城與\_伊賀\_堺六。山城與\_伊賀\_堺七。山城與\_紀伊\_堺八。山城與\_紀伊\_堺九。山城與\_播磨\_堺十。



關大明神社石造狛犬（正面）

關大明神社石造狛犬（狛者側侧面）



關大明神社石造狛犬（背面）

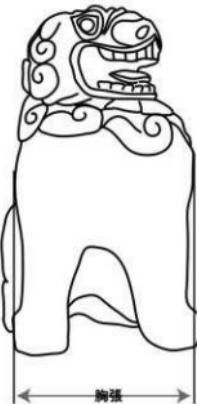
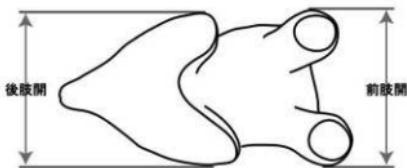
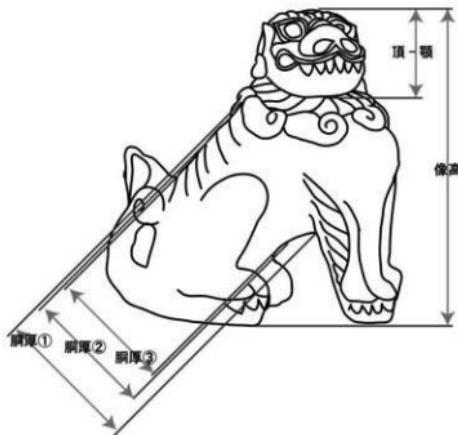
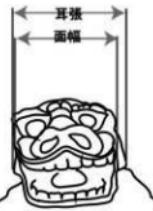
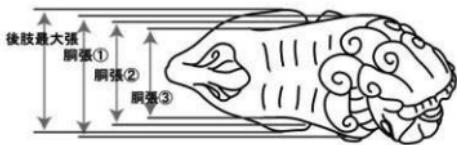
關大明神社石造狛犬（祭神側侧面）



關大明神社石造狛犬（阿形像底）



關大明神社石造狛犬（吽形像底）



## 町指定文化財一覧

島本町文化財保護条例が平成 20 年 7 月 1 日に施行されました。

島本町文化財保護審議会にて審議していただき、下記の文化財を指定しました。

平成 21 年度 島本町指定文化財 第 1 号	
名 称 :	水無瀬駒 関連資料
指 定 日 :	平成 21 年 4 月 14 日
所 有 者 :	水無瀬神宮（個人）
所 在 地 :	広瀬三丁目
種 類 :	有形文化財
種 別 :	美術工芸品（歴史資料）
員 数 :	小将棋（漆書・八十二才銘）一揃 合計 39 枚 飛車が欠落 中将棋（墨書・八十六才銘）一揃 合計 91 枚 歩兵が欠落 中将棋（漆書）残欠四枚 象戯図 一巻、附 象戯図 一巻
時 代 :	安土桃山時代

平成 22 年度 島本町指定文化財 第 2 号	
名 称 :	神像（伝 聖徳太子七歳像）
指 定 日 :	平成 22 年 4 月 5 日
所 有 者 :	若山神社
所 在 地 :	大阪市立美術館 寄託
種 類 :	有形文化財
種 别 :	美術工芸品（彫刻）
員 数 :	1 軸
品質・形状 :	ヒノキ材・一本造り・彫眼・彩色仕上げ
法 量 :	像高 35.8cm
時 代 :	平安時代後期

平成 23 年度 島本町指定文化財 第 3 号	
名 称 :	宝城庵 薬師如來立像
指 定 日 :	平成 23 年 4 月 1 日
所 有 者 :	宝城庵
所 在 地 :	桜井三丁目
種 類 :	有形文化財
種 别 :	美術工芸品（彫刻）
員 数 :	1 軸
品質・形状 :	ヒノキ材・一本造り・彫眼・彩色仕上げ
法 量 :	像高 96.5cm
時 代 :	平安時代後期

島本町指定文化財 第 1 号追加	
名 称 :	将棊馬日記
指 定 日 :	平成 23 年 4 月 1 日
所 有 者 :	水無瀬神宮（個人）
所 在 地 :	広瀬三丁目
種 類 :	有形文化財
種 别 :	美術工芸品（歴史資料）
時 代 :	17 世紀初期
員 数 :	一冊



**平成 24 年度 島本町指定文化財 第 4 号**

名 称 :	勝幡寺 薬師如来立像
指 定 日 :	平成 24 年 4 月 1 日
所 有 者 :	勝幡寺
所 在 地 :	山崎四丁目
種 類 :	有形文化財
種 別 :	美術工芸品（彫刻）
員 数 :	1 塔
品 質・形 状 :	ヒノキ材・割矧ぎ造りか・眼影・漆箔仕上げ
法 量 :	像高 150.1cm
時 代 :	鎌倉時代



**平成 26 年度 島本町指定文化財 第 5 号**

名 称 :	勝播寺 元三大師みくじ関係資料 一式
指 定 日 :	平成 26 年 4 月 1 日
所 有 者 :	勝播寺
所 在 地 :	山崎四丁目
種 類 :	有形文化財
種 别 :	民俗（有形民俗）
時 代 :	江戸時代（一部推定を含む）
品 目 :	みくじ箋の版本、みくじ箱、 みくじ竹、みくじ算箇



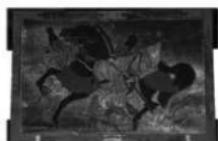
**平成 27 年度 島本町指定文化財 第 6 号**

名 称 :	須恵器 大甕
指 定 日 :	平成 27 年 4 月 1 日
所 有 者 :	島本町教育委員会
所 在 地 :	桜井二丁目
種 類 :	有形文化財
種 别 :	美術工芸品（考古資料）
員 数 :	1 口
法 量 :	口径 52.6 cm 器高 105.0 cm 最大胴部径 107.8 cm (底部から 65.9 cm の地点) 容量 522.6ℓ
時 代 :	奈良時代末期から平安時代



**平成 29 年度 島本町指定文化財 第 7 号**

名 称 :	若山神社 絵馬
指 定 日 :	平成 30 年 1 月 15 日
所 有 者 :	若山神社
所 在 地 :	大字広瀬 1497
種 類 :	有形文化財
種 别 :	民俗（有形民俗）
時 代 :	江戸時代
員 数 :	曳馬図絵馬 1 一面 曳馬図絵馬 2 一面 猿猴乗馬図絵馬 一面 竹虎図絵馬 一面



曳馬図絵馬 1

島本町立歴史文化資料館 館報 第14号  
令和3年度版（2021）

発 行 島本町教育委員会

〒618-8570

大阪府三島郡島本町桜井二丁目1番1号

TEL 075-961-5151

発行日 令和5年3月

印 刷 株式会社 西川印刷所

〒567-0828

大阪府茨木市舟木町18-30

TEL 072-634-7644